

2024年度岡山赤十字病院皮膚科の紹介皮膚科部長横山恵美(よこやまえみ)

いつも当科へご紹介いただき、感謝申し上げます。

皮膚科は2024年10月現在、皮膚科専門医2名、医師2名(今年専門医取得にむけ猛勉強中)で診療をしております。今年度4月より新米部長:横山、脱毛外来担当:光井、アトピー性皮膚炎外来:高須賀、蕁麻疹外来:山口の4人は(図1)、全員子育て中でもあります。母子には特に思い入れが強く、特に小児皮膚疾患には瞬時善処したいと考えています。乾癬やアトピー性皮膚炎・脱毛症については新薬の小児への適用も拡大して治療選択肢が増えましたが、個々の患者さんやそのご家族に寄り添った治療を提案したいと思っています。小児科との合同カンファレンスを開始し、患者さんの病状経過や治療法などの情報共有を図っています。また酒さやアトピー性皮膚炎など、治療に難渋する場合には、接触皮膚炎除外のためにパッチテストなどの皮膚アレルギー検査も積極的に行い、原因究明に繋げたいと考えます(図2)。前任の馬屋原先生は生物学的製剤や分子標的薬など全身治療を積極的に取り入れられ、道筋のついた乾癬や掌蹠膿疱症の患者さんをたくさん引き継ぎさせていただきましたので、慎重に治療してまいります。また伝統的に皮膚腫瘍や救急病院として熱傷や重症感染症の受け入れも、形成外科とともに対応しております。形成外科との合同カンファレンスを月に1回、病理診断科との皮膚病理カンファレンスを2カ月に1回定期的に行い、診断や治療の向上に努めています。患者さんの積極的な逆紹介も行ってまいりますので、地域の先生方にはこれからもお力添えをお願いいたします。皮膚にトラブルをお持ちの患者さんやその家族が少しでも笑顔になれるように、地域の先生方のお役にたてるように、丁寧な診療を心がけ、力をあわせて精進いたしますので、これからもご支援を賜りますよう、どうぞよろしくごお願い申し上げます。



前列左:高須賀(アトピー外来)、中央:横山(新米部長)、右:光井(脱毛外来)、後列中央:山口春佳(蕁麻疹)、後列左:外来業務を滞りなく支えてくれるクラークさん、後列右:看護師さん、写真左:複雑なパッチテストの試薬を準備する優秀な看護師さん